

# 2023仙台市議選 立候補予定者 こども子育て政策に関するアンケート

回答者名【 石川けんじ 】 立候補予定選挙区【 泉区 】

問1. 仙台市では、保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業を行っていますが、どのように評価していますか。

子育ての世帯・家族の孤立化を防ぎ、子育ての社会化を進める立場から、評価している。保育士等の専門的知識や技術、施設などを活かすことは、社会資源の有効な活用にもなる。この事業の本格導入を視野に、モデル事業における課題等を整理し、市として人材や財政を含め積極的な支援を求めたい。

問2. 仙台市発達相談支援センター（アーチル）が、受付から相談対応まで最大4ヶ月かかることに対して、どのようにお考えですか。

大きな課題で、議会でも取り上げられており、我が会派としても求めているが、人員の配置や確保、アーチルの増設など相談者の期待に速やかに応えうる体制を構築するよう働きかけていきたい。

問3. 厚生労働省は、インクルージョンを推進していく上では、児童発達支援と幼稚園・保育所等との併行通園を推奨していくことが重要としています。どのようにお考えですか。

仙台市では現在、2018年3月に策定した「仙台市幼児教育の指針」に基づいて、家庭や地域、幼稚園、保育所、認定こども園等と連携しながら取り組まれていると認識しており、児童発達支援と幼稚園・保育所等との並行通園について組織の枠を超えた対応が必要と考える。

問4. 仙台市には、障害のある子どもを保育園に預けたくても預けられず、就労を諦めている人が一定数おられます。この現状についてどう思われますか。

子供の障がいとして就労を諦める現状は、改善すべきであると考え。障がいの有無に関わらず、子どもの適切な保育の保障や保護者が希望する就労の条件を構築する必要があり、行政の役割は大きい。

問5. 仙台市の医療的ケア児の保育所受入れ人数は100万人当たり4.6人で、政令指定都市20都市中17位です。この現状についてどう思われますか。

受け入れが十分できていない現状の把握や分析、改善に向けた方針や施策を明確化する必要があると考える。郡市長が標榜する「子育てが楽しいまち」の実現には、この分野における事業の推進も欠かせず、施設の整備や専門職の確保や育成に着手するよう求めている。

問6.その他、コメントあればお願いいたします。

障害の有無等に関わらず、人間としての尊厳が重んじられる社会の実現に努力したい

こども達のために、日本を変える  
**Florence**